

日本政治学会 会報

The JPSA News

No.37

MAY.1999

世紀末における政治学 —1999年度研究会企画によせて—

企画委員長 下斗米伸夫

この10月2・3日に國學院大學で開催される日本政治学会の研究会は、昨年の結成50周年をうけて新しい段階に入ってから最初の会議であり、そして1900年代の最後にもあたる。世紀末を迎えた世界では、コソボ紛争に見られるように、歴史の終焉どころか、二十世紀国際政治史の原点に回帰するような問題すら生起している。

舞台と状況は絶え間なくかわるようであり、「南海泡沫会社」事件があった十八世紀のはじめの英国からみても人間社会はあまり進歩してないのではないかという懐疑を、日本から東南アジアへと展開されたこの間のバブル経済危機への対応をみて感じざるをえない。国内政治にあっても、選挙制度改革から宗教にいたる、古くて、そしていつでも新しい問題への対応が、政治学をなりわいとする我々に問われている。

99年度の企画は、幸い委員に人を得て、昨秋同志社大学から始まった。共通論題としては、「政治改革」再訪として、90年代前半の政治改革という課題に新しい検討の光を当てることを試みた。制度改革が一巡し、これをめぐる議論が、中選挙区復帰論をふくめて提起され、またデータの集積もいちおうできてきた今日、新たな視角からこのアツイ問題を再度論じたい。

研究会では従来二つの共通論題をおく例が多かったが、これを削減すべきだという議論もあるなか、今年度は主催校である國學院大學という場の特徴も生かし、開催校企画という方式を試みた。場所提供といった関係を越えて開催校の主導性を生かすところみであるが、この点では主催校の永森誠一法学部長、小原薫企画委員のご協力もあつ

て、「国民国家形成と宗教」といったテーマを設定できた。宗教と政治の関係を比較の観点から論じることになる。

分科会についても企画委員のみさんの協力でも、オーソドックスな英国などの政治思想から、十年目をむかえた東欧改革の評価、日米関係の史的形成、協調的安全保障、そしてアジア経済危機やネオ・リベラルといった、きわめてアクチュアルな設定も考えた。

また地方自治を問う国際パネルでは国際交流委員会の多大なご協力の賜物であるが、今回は地方議会などの分科会とあわせて、ひとつの企画の核となっているのではないだろうか。ひそかに自負するのは、情報化やニュー・パブリック・マネジメント、政策と価値の関係で本格的なパネルを組めたことである。

分科会提案については、本年度は2件のご提案があり、いずれも企画として採択するのにおさわしうということになった。国会研究に関する分科会は、地方議会の分科会と併せて考えられるし、選挙行動と政策形成の分科会は、共通論題にも通じる重要課題といえよう。委員会の企画を拡充するような提案を自発的に企画された関係研究者集団には深く感謝したい。

自由論題については、計7点の自由な応募があった。採択したくなる魅力的な企画もあったけれども、企画としてはすでに最近の研究会の分科会と重なったり、あるいはもう少し発酵を期待した方がいいという委員会の意見もあったりで、今回このパネルは残念ながら設定しないこととなった。ご了解をお願いしたい。

1999年度 日本政治学会研究会プログラム (4月末現在)

共通論題 「政治改革」再訪

- 司会 佐々木 毅 (東京大学)
報告 高島 通敏 (立教大学)
吉田 慎一 (東京大学・朝日新聞)「政治資金から見た政治改革」
的場 敏博 (京都大学)
討論 内田 健三 (東海大学)
曾根 泰教 (慶応義塾大学)

主催校企画 「国民国家形成と宗教」

- 司会 平石 直昭 (東京大学)
報告 竹中 浩 (大阪大学)「ロシア帝国の民族政策と宗教」
坂本 是丸 (國學院大学)
吉岡 知哉 (立教大学)「アンシャン・レジームと宗教」
討論 鈴木 規夫 (愛知大学)
有賀 弘 (日本大学)

APSA 国際セッション「地方自治の再検討」

- 司会 村松 岐夫 (京都大学)
報告 永田 尚久 (NIRA)「日本の自治体における政策主導型システム構築への挑戦」
ジョン・ジュン (UCLA ハイワード校)
テリー・クラーク (シカゴ大学)
討論 スティーブン・リード (中央大学)

分科会 A 「初期近代における自由と寛容」

- 司会 佐藤 正志 (早稲田大学)
報告 辻 康夫 (北海道大学)「自然論と寛容—ブーフエンドルフを中心に」
大沢 麦 (聖学院大学)「寛容と信従—ジョン・ロックとイングランド国教会」
坂本 達哉 (慶応義塾大学)「ヒュームにおける文明社会と政治」
討論 関口 正司 (九州大学)

分科会 B 「東欧改革 10 年」

- 司会 伊東 孝之 (早稲田大学)
報告 平田 武 (東北大学)
仙石 学 (西南学院大学)「制度変革の比較分析—何が変わったのか」
六鹿 茂夫 (静岡県立大学)
討論 林 忠行 (北海道大学)
片山 裕 (神戸大学)

分科会 C 「アジア経済危機の政治的帰結の比較」

- 司会 木宮 正史 (東京大学)
報告 大西 裕 (大阪市立大学)「韓国：通貨危機にいたるまで」
浅見 靖仁 (一橋大学)
鳥居 高 (明治大学)
討論 堀坂浩太郎 (上智大学)

分科会 D 「地方政治における議会の役割」

- 司会 谷 聖美 (岡山大学)
報告 新川 達郎 (同志社大学)
村上 弘 (立命館大学)
岡本 光雄 (全国町村議会)
討論 又木 京子 (神奈川ネット)
神原 勝 (北海道大学)

分科会 E 「日米関係の史的形成」

- 司会 古矢 旬 (北海道大学)
報告 蓑原 俊洋 (神戸大学)「1923年移民法」
藤本 一美 (専修大学)「鈴木・レーガン首脳会談と日米同盟」
討論 田所 昌幸 (防衛大学校)
明田川 融 (法政大学)

学 会 ニ ュ ー ス

分科会F「選挙行動と政策形成」

- 司会 小林 良彰 (慶応義塾大学)
報告 西沢 由隆 (同志社大学)「政策評価と選挙行動」
堤 英敬 (香川大学)「選挙公約と選挙行動」
河村 和徳 (金沢大学)「選挙結果と公共投資」
討論 河野 武司 (杏林大学)
山田 真裕 (関西学院大学)

分科会G「ネオリベラリズムのオルタナティブは？」

- 司会 磯村 早苗 (國學院大学)
報告 佐藤 宏 (秀明大学)「南アジアの状況から(仮)」
山本 純一 (慶応義塾大学)「メキシコの状況から(仮)」
討論 小林 誠 (立命館大学)
遠藤 貢 (東京大学)

分科会H「協調的安全保障の再検討」

- 司会 添谷 芳秀 (慶応義塾大学)
報告 菊池 努 (青山学院大学)
植田 隆子 (国際基督教大学)
討論 山本 吉宣 (東京大学)

分科会I「価値と政策」

- 司会 初瀬 龍平 (神戸大学)
報告 松田 哲 (京都学園大学)「政府開発援助政策における対立」
斉藤 俊明 (岩手県立大学)「政策によって実現する価値と政策」
今川 晃 (熊本県立大学)「政策に対する政治の価値観と行政の価値観」
討論 嶋津 格 (千葉大学)

分科会J「情報化をめぐる政治」

- 司会 山川 雄巳 (関西大学)
報告 廣瀬 克哉 (法政大学)「情報基盤をめぐる国際ガバナンスの形成」
風間 規男 (近畿大学)「地方政府の情報化の問題」
討論 名和小太郎 (関西大学)
田島 平伸 (岩手県立大学)

分科会K「ニューパブリックマネジメントの国際比較」

- 司会 真淵 勝 (大阪市立大学)
報告 稲継 裕昭 (姫路獨協大学)「イギリス」
金井 利之 (東京都立大学)「オランダ」
原田 久 (熊本県立大学)「ドイツ」
討論 猪口 邦子 (上智大学)
君村 昌 (同志社大学)

分科会L「国会研究の新展開」

- 司会 内田 満 (早稲田大学)
報告 川人 貞史 (東北大学)「50年代議員立法と国会法改正問題」
谷 勝宏 (名城大学)「最近の日本における党議拘束の変容」
福元健太郎 (学習院大学)「戦後全政府立法案の審議過程分析」
討論 成田 憲彦 (駿河台大学)

1999年度 日本政治学会研究会

と き：1999年10月2日(土)

～10月3日(日)

場 所：國 學 院 大 学

規約検討委員会の発足について

理事 加茂 利男

3月23日に開催された理事会で「規約検討委員会」が設置されることになり、私が委員長を仰せつかりました。

多くの会員の皆様をご存知のように、現行の日本政治学会規約は、学会発足当初につくられたものがほとんど修正されず今日に至っており、そのため現実にそぐわない条項が残されています。たとえば「総会は会員の過半数の出席をもって成立する」(16条)とされていますが、各年度の研究会に出席される会員は会員総数の3分の1程度であり、総会の成立要件が有名無実化した状態が40年も続いています。当然この間に理事会では何度となく規約の改正が論議されましたが、その規約改正には「定例総会においてその出席会員の3分の2

以上の同意」を要するとされており、改正手続きそのものが「封印」されているため、今日まで改正に至っていません。今次理事会では、「会員数が1500名にも達する状態となった今日、この規約をそのままにしておくわけにはいかない」、との気運が高まり、本委員会が設けられることとなったものです。

事実上規約にもとづく改正手続きをとることが困難なのですが、最大限会員の皆様のご意見を反映できる方法で、学会にふさわしい現実的かつ民主的な規約のあり方を検討し、具体的な提案をさせていただき所存ですので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

韓国政治学会冬季大会への参加者募集について

日本政治学会では、韓国政治学会との交流の一環として相互の政治学会への学会会員の招聘事業を行っています。今年度が韓国への学会派遣の第一回です。下記の要領で募集いたしますので、ご希望の方は下記までご連絡下さい。

1. 韓国政治学会12月大会 1999年12月2日(木)より12月4日(土)
2. 使用言語：原則として英語もしくは韓国語
3. 参加パネル：未定、但し参加者の専門に応じて相談
4. 費用：渡航費用は日本政治学会(国際交流委員会日韓交流小委員会)、滞在費用は韓国政治学会が負担します。

国際交流委員会 日韓交流小委員会

5. 募集人員 2名
6. なお自由参加(費用自己負担)も歓迎します。
7. 締め切り：まだ決まっていますが、できるだけ早く(6月末まで)ご連絡ください。

連絡先

辻中豊 Yutaka TSUJINAKA(筑波大学社会科学系)
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学社会科学系
TEL 0298-53-6289
FAX 0298-53-7454
E-mail tsujinak@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

アメリカ政治学会派遣報告者公募について

日本政治学会では1990年度よりアメリカ政治学会（APSA）と交流を続け、会員を相互の年次研究大会に派遣してきました。来年度にむけて、国際交流委員会では新たな展開を計画中ですが、その一環として、日本政治学会からの派遣としてアメリカ政治学会にて研究報告して頂く方を2名の枠内で公募することに致しました。

2000年度アメリカ政治学会年次大会（APSA Annual Meeting）は、ワシントンD.C.で2000年8月31日～9月3日に開催されます。

報告者は、2000年7月末日まで（必着）に英語論文を司会者・討論者ならびに他の報告者の各々に郵送し、かつ約50部を学会当日までに会場に搬入することになります。派遣報告者の往復旅費については日本政治学会（国際交流委員会日米交流小委員会）が負担し、大会期間中の宿泊費と大会参加費（Registration Fee）についてはアメリカ政治学会が負担致します。

交流の主旨に鑑みまして、公募では、「日本政治の実証分析」の領域に限らせて頂きますが（他の領域は別途検討中）、2000年度APSA年次大会への派遣・報告をご希望の方がございましたら、小林良彰

国際交流委員会 APSA 小委員会

まで下記の要領でお申し込み頂ければ幸いです。

1. 氏名、（以下、自宅と勤務先の）住所、電話、ファックス、電子メール・アドレス
2. 所属機関・職名
3. 御報告希望の英語での論題（仮題も可）
4. 御報告予定の要旨（proposal）を英語で約400語（A4・1枚以内）
5. 締め切り：1999年7月26日（月）（必着）
6. 申込先：（下記まで、郵送でお申し込み下さい。）

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学法学部 小林良彰

詳細につきましては、小林良彰までお問い合わせ下さい。連絡先は、下記の通りです。

TEL：03-3769-4748（直通）
FAX：03-3705-4530（直通）
E-mail：cpskobayasi@msn.com

なお、選考は国際交流委員会にお任せ頂ければ幸いです。

1998年度第4回理事会記録

日 時：1998年12月12日（土）午後1時20分から3時20分まで

場 所：法政大学市ヶ谷80年館大会議室

第4回理事会では、理事長挨拶の後、以下の事項が報告・協議された。

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

下斗米1999年度企画委員長より、共通論題を「『政治改革』再訪」と、「国民国家形成と宗教」（開催校主催）とし、現在のところ、10程度の分科

会を予定している旨報告があった。

(2) 年報委員会

北岡伸一1998年度委員長より、年報の刊行が1月となることにつき報告があった。加茂利男1999年度年報委員長より、公募論文については18名の申込者中8名の投稿があり、委員会の方で審査する予定であること、また50周年記念誌として企画中である旨報告があった。

加藤節2000年度委員長より、亀嶋庸一（成蹊大学）、西崎文子（成蹊大学）、加藤哲郎（一橋大学）、古矢旬（北海道大学）、松本礼二（早稲田大学）、鈴木朝生（二松学舎大学）、鈴木規夫（愛知

大学)、川出良枝(東京都立大学)、李光一(桜美林大学)、塚本元(法政大学)、藤原帰一(東京大学)の11氏に委員を委嘱した旨報告があった。

馬場康雄2001年度委員長より、委員の選考中である旨報告があった。

(3) 文献委員会

藪野1999年度委員長より、自己申告のアンケートが配布されたこと、および委員についてはなお選考中であり、3月の理事会で行いたい旨報告があり、了承された。飯島昇蔵2000年度委員長より、委員の選考中である旨報告があった。

(4) 選挙管理委員会

寺崎委員長より、飯尾潤(政策研究大学院)、岩淵美克(日本大学)、河野武司(杏林大学)、古城佳子(東京大学)、玉井清(慶應義塾大学)、早川純貴(駒澤大学)、福田耕治(早稲田大学)の7氏に委員を委嘱した旨報告があり、了承された。また、ルーティンに従い、次年度の選挙事務を進めていく旨報告があった。

(5) 国際交流委員会

海外出張中の大嶽委員長に代わって、蒲島副委員長より、まずアジアとの交流のため小委員会が設置され、渡辺浩理事が担当することとなったこと、ネパールの政治学会大会に渡辺理事を派遣すること、次いでECPRとの交流について、11月熊本で会議が行われ3年にわたった共同研究の第一ラウンドが終了、第二ラウンドが予定されていること、イギリスのケントで行われるECPR大会の招請状が来ていること、IPSA2000年大会に関し、協力の要請があったことが報告された。

韓国との交流を担当する辻中理事より、伊藤光利(神戸大学)、中野実(明治学院大学)、藪野祐三(九州大学)、木宮正史(東京大学)、大西裕(大阪市立大学)をメンバーとする小委員会を設けたこと、韓国政治学会との交流については、毎年2名ずつ相互に大会に派遣することが報告された。

米国との交流を担当する小林理事より、西澤由隆(同志社大学)、ステイーブン・リード(中央大学)をメンバーとする小委員会を設けたこと、1999年9月のAPSA大会へ、平野浩会員(明治学院大学・公募)、田辺国昭(東京大学・学

会推薦)、秋月謙吾(京都大学・学会推薦)の計3名を派遣する旨報告があり、了承された。

(6) 50周年記念事業委員会

五百旗頭委員長より無事成功裡に終了した旨報告があり、つづいて梅津理事より、50周年記念事業の決算に際し、50万円の返還の申し入れがあり、承認された。

2. 学会事務センターへの業務委託

久米常務理事より、1999年4月1日からの学会事務センターへの業務委託の件につき、配布資料(契約書、覚書、ご案内)に基づき説明があり、あわせて会計見通しが説明され、了承された。

また、事務センターへの業務移管にともない、理事選挙資格の確定スケジュールについて、2年分会費滞納者へ3月10日に告知書を送付、3月31日付で2年分未納者の会員資格を失効としたい旨報告があり、審議の結果承認された。さらに、会費振込手数料に関し、振込手数料を会員自己負担とせざるを得ない旨説明があり、審議の結果了承された。

3. 新入会員承認の件

以下の28名の入会が承認された。

上野真也、岡野八代、金丸裕志、喜志麻孝子、窪田好男、小林和幸、島田洋一、鈴木光恵、世木義之、仙石学、高橋秀行、東郷育子、戸政佳昭、中田晋自、西谷真規子、野田遊、濱賀裕子、林沼敏弘、原田久、平田忠輔、藤井篤、藤井功、Ito Peng、松田哲、水谷利亮、宮地忠彦、柳原克行、吉次公介

4. 事務局報告

久米常務理事より、10月24日事務引継ぎが行われたこと、12月8日前事務局よりニュースレターが送付されたこと、会員名簿に関し、アンケート実施の上、年度内に発行する予定である旨、報告された。

5. その他

(1) 五百旗頭理事長より、日本学術会議から「アジア学術会議」への後援依頼があった旨報告があった。

(2) 五百旗頭理事長から、学会規約改正につき、

3月理事会で検討委員会を設けたい旨提案があり、承認された。

6. 次回理事会日程の件

次回理事会を、1999年3月23日(火)午後2時から、神戸大学で開催することが承認された。

1998年度第5回理事会記録

日 時：1999年3月23日(火)午後2時から4時まで

場 所：神戸大学大学院国際協力科1F会議室
第5回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

下斗米1999年度企画委員長より、「『政治改革』再訪」を共通論題の一つとし、主催校(國學院大學)企画の「国民国家形成と宗教」を設けること、公募企画の「国会研究の新展開」と「選挙行動と政策形成」を加えて12の分科会を予定している旨報告があり、了承された。さらに、公募の「自由論題」のセッションについては今回見送りとなったこと、および委員会で院生の自由な交流の場を作ってはという意見が出された旨報告があった。

(2) 年報委員会

加茂1999年度年報委員長(欠席のため、常務理事代読)より、公募論文7本のレフリー審査の結果が出揃い、4月6日の委員会において決定する予定であること、6月末の原稿締切にむけて順調に進んでいる旨報告があった。

加藤節2000年度委員長(欠席のため、常務理事代読)より、4月中旬に研究会をもつ予定であり、自由論題の公募論文に関し現在8件の申し込みがあり、3月末までになお若干増える見込みである旨報告があった。

馬場2001年度委員長(欠席のため、常務理事代読)より、年報のテーマを「三つの民主主義の一世紀：自由民主主義、社会民主主義、キリスト教民主主義」(仮題)とし、委員の人選、科研申請の準備中である旨報告があった。

(3) 文献委員会

藪野1999年度委員長より、大河原伸夫(九州

大学)、山崎克明(北九州大学)、竹中佳彦(北九州大学)、関口正司(九州大学)、黒木彬文(福岡国際大学)、熊野直樹(九州大学)、柏岡富英(京都女子大学)、依田博(京都女子大学)、石田正治(九州大学)に、委員を委嘱した旨報告がありました承された。

飯島2000年度委員長(欠席のため、常務理事代読)より石田淳(東京都立大学)、井戸正伸(茨城大学)、梅森直之(早稲田大学)、川出良枝(東京都立大学)、佐藤正志(早稲田大学)、辻隆夫(早稲田大学)、原武史(山梨学院大学)、平野浩(明治学院大学)、松園伸(早稲田大学)に委員を委嘱した旨報告がありました承された。

(4) 選挙管理委員会

寺崎委員長より(欠席のため、常務理事代読)、3月24日に第1回選挙管理委員会を開催し、7月10日の第2回選挙管理委員会において、開票、当選者確定を行う予定であることが報告され、了承された。

(5) 国際交流委員会

蒲島副委員長より、ECPRとの今後の3年間の交流について、文部省から国際学術研究費があり、蒲島郁夫(東京大学)、大嶽秀夫(京都大学)、佐々木毅(東京大学)・千葉真(国際基督教大学)、久米郁男(神戸大学)で4つのチームを編成したこと、およびポーランドのクラコフで開かれるIPSAの会議の件(次期会長選挙、2003年度大会開催地選定の件)につき報告があった。

小林(APSA担当)小委員長より、APSAとの交流の件につき、99年度研究会で、テリー・クラーク(シカゴ大学)、ジョン・ジュン(カリフォルニア州立大学ヘイワード校)を招聘し「地方自治の再検討」というテーマのセッションをもちたい旨報告があり、了承された。

渡辺(アジア担当)小委員長より、ネパール政

治学会との交流につき、報告があった。

辻中（日韓交流）小委員長より、韓国政治学会との交流に関し、今秋の学会に2名を報告者として招聘すること（日本側が滞在費を負担）、日韓関係についての分科会を別個に設けるよりも、韓国側参加者のテーマに応じ適当な分科会に参加してもらうこと、報告は英語もしくは日本語とすることとして、現在交渉中である旨報告があった。また、12月の韓国政治学会大会に、日本側からも2名派遣するが、その人選につき、APSAの例に従い公募も考えている旨報告があった。

2. 規約改正問題について

五百旗頭理事長より、12月の理事会決定に基づき、理事会として規約検討委員会を設け、総会に関わる規程への対処を検討するとともに、その他規約をめぐって検討すべき課題の指摘等につき委嘱したいこと、および委員長に加茂理事を推薦したい旨提案があり、了承された。加えて、委員会案を6月の理事会で検討の上、秋の総会で会員に向けて説明し、2000年度大会の際に結論を得たい旨提案がなされ、承認された。

3. 1998年度決算について

久米常務理事より決算の概要（決算案別添）が報告され、千葉・秋月両監事から監査により適正に処理されていることを確認した旨報告され、

承認された。

4. 1999年度予算について

久米常務理事より予算案の提案があり、原案通り承認された。（予算案別添）なお、規約検討委員会設置にともなう予算措置を予備費から追加したい旨提案があり、承認された。

5. 新入会員承認の件

以下の20名の入会が承認された。
明田川融、大前信也、岡林信一、小河達之、柿本智正、柏岡富英、高選圭、呉明上、篠田英朗、鈴木宗徳、竹島博之、竹森正孝、中井歩、中谷真憲、西田慎、服部聡、羽場久滉子、朴盛彬、宮野勝、六鹿茂夫

6. 事務局報告

- (1) 学会員名簿の件
久米常務理事より、本年度内に発送する予定である旨報告があった。
- (2) 学会事務センターへの業務委託の件
常務理事より、契約、委託作業が進行中である旨報告があった。

7. 次回理事会日程の件

次回理事会を、1999年6月19日（土）午後2時から、東京で開催することにつき了承された。

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 1998 年度決算(案)

〔一般会計〕

	費 目	予算額	通年執行額	残 高
収入				
1	前年度繰越金	5,915,426	5,915,426	0
2	会費収入	10,380,000	10,605,570	225,570
3	雑収入	2,000	342,498	340,498
収入合計		16,297,426	16,863,494	566,068
支出				
1	研究会開催費	1,100,000	1,100,000	0
	A.研究会準備金	1,050,000	1,050,000	0
	B.報告者礼金	50,000	50,000	0
2	委員会経費	830,000	830,000	0
	A.年報委員会	210,000	210,000	0
	B.企画委員会	210,000	210,000	0
	C.文献委員会	190,000	190,000	0
	D.国際交流委員会	170,000	170,000	0
	E.選挙管理委員会	0	0	0
	F.50周年記念企画委員会	50,000	50,000	0
3	理事会経費	100,000	23,021	76,979
4	IPSA学会分担金	390,000	407,400	-17,400
5	事務局経費	1,610,000	1,537,434	72,566
	A.理事長通信費	100,000	100,000	0
	B.運営費	60,000	60,000	0
	C.人件費	800,000	800,000	0
	D.経常費	250,000	226,294	23,706
	E.事務局移転費	400,000	351,140	48,860
6	名簿作成積立金	550,000	550,000	0
7	国際交流基金への積立金	300,000	300,000	0
8	選挙管理費	0	0	0
9	会報発行費	700,000	658,572	41,428
10	年報会計への繰出	4,700,000	4,700,000	0
11	50周年記念事業費	500,000	0	500,000
12	予備費	5,517,426	347,040	5,170,386
支出合計		16,297,426	10,453,467	5,843,959

一般会計資産

郵便振替口座	1,867,018
郵便貯金総合口座	3,554,591
三和銀行普通口座	988,418
合 計	6,410,027

〔別会計〕

1.名簿作成積立金

	費 目	予算額	通年執行額	残 高
収入				
1	前年度繰越金	957,082	957,082	0
2	本年度積立	550,000	550,000	0
3	利息	700	1,108	408
収入合計		1,507,782	1,508,190	408
支出				
1	名簿作成費用	1,507,782	245,822	1,261,960
2	予備費	0	0	0
支出合計		1,507,782	245,822	1,261,960
差引残高			1,262,368	

2.国際交流基金

収入				
1	前年度繰越金	21,195,524	21,195,524	0
2	本年度積立	300,000	300,000	0
3	利息	126,261	125,600	-661
収入合計		21,621,785	21,621,124	-661
支出				
1	執行計画	550,000	351,050	198,950
2	予備費	21,071,785	0	21,071,785
支出合計		21,621,785	351,050	21,270,735
差引残高			21,270,074	

3.年報会計

収入				
1	前年度繰越金	1,382,886	1,382,886	0
2	一般会計から	4,700,000	4,700,000	0
3	利息	2,000	3,787	1,787
収入合計		6,084,886	6,086,673	1,787
支出				
1	年報費用	5,400,000	5,338,398	61,602
2	予備費	684,886	0	684,886
支出合計		6,084,886	5,338,398	746,488
差引残高			748,275	

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 1999 年度予算(案)

〔一般会計〕

	費 目	予 算 額
収入		
1	前年度繰越金	6,410,027
2	会費収入	10,600,000
3	雑収入	2,000
収入合計		17,012,027
支出		
1	研究会開催費	1,100,000
	A.研究会準備金	1,050,000
	B.報告者礼金	50,000
2	委員会経費	815,000
	A.年報委員会	210,000
	B.企画委員会	210,000
	C.文献委員会	190,000
	D.国際交流委員会	170,000
	E.選挙管理委員会	35,000
3	理事会経費	100,000
4	IPSA学会分担金	400,000
5	事務局経費	710,000
	A.理事長通信費	100,000
	B.運営費	60,000
	C.人件費	400,000
	D.経常費	150,000
6	学会事務センター委託経費	1,873,300
	A.業務委託費	1,160,000
	B.事務通信費	200,000
	C.契約金	60,000
	D.引継経費	453,300
7	名簿作成積立金	300,000
8	国際交流基金への積立金	300,000
9	選挙管理費	400,000
10	会報発行費	700,000
11	年報会計への繰出	4,700,000
12	予備費	5,613,727
支出合計		17,012,027
差引残高		0

〔別会計〕

1.名簿作成積立金

	費 目	予 算 額
収入		
1	前年度繰越金	1,262,368
2	本年度積立	300,000
3	利息	332
収入合計		1,562,700
支出		
1	名簿作成費用	1,080,000
2	予備費	482,700
支出合計		1,562,700
差引残高		0

2.国際交流基金

収入		
1	前年度繰越金	21,270,074
2	本年度積立	300,000
3	利息	122,801
収入合計		21,692,875
支出		
1	執行計画	550,000
2	予備費	21,142,875
支出合計		21,692,875
差引残高		0

3.年報会計

収入		
1	前年度繰越金	748,275
2	一般会計から	4,700,000
3	利息	1,725
収入合計		5,450,000
支出		
1	年報費用	5,450,000
2	予備費	0
支出合計		5,450,000
差引残高		0

学会事務の外部委託についてのご案内

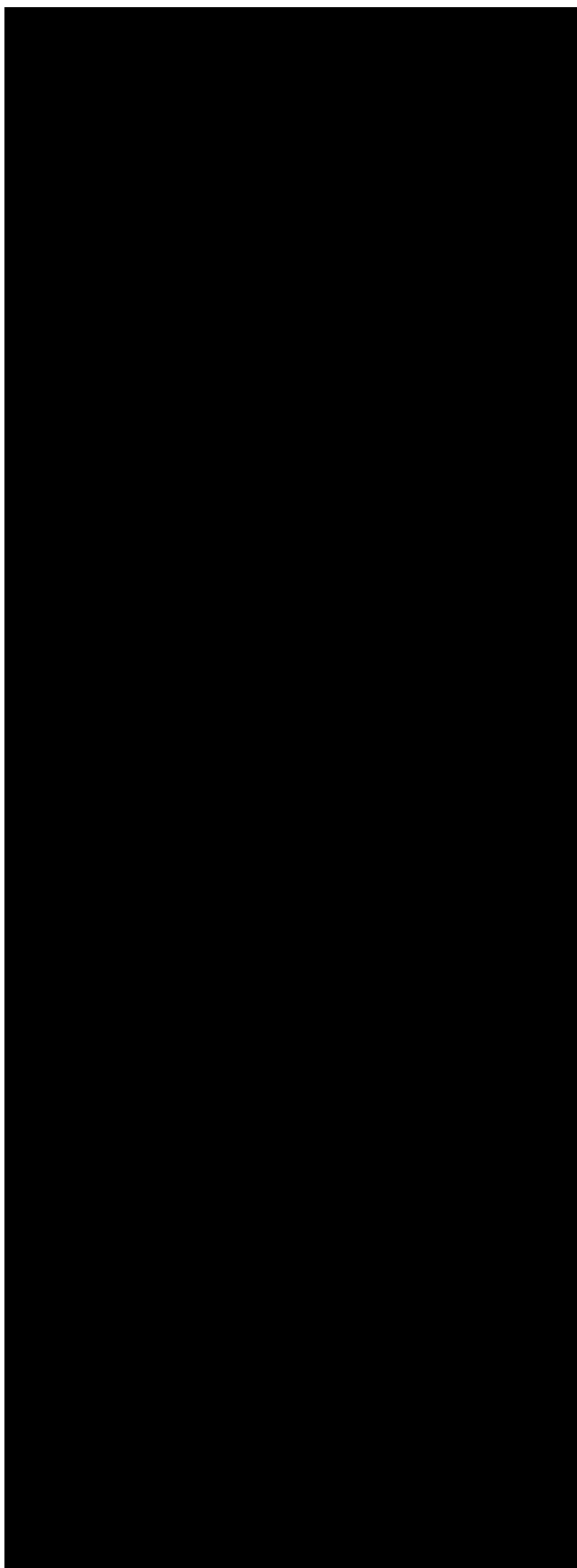
常務理事 久米 郁男

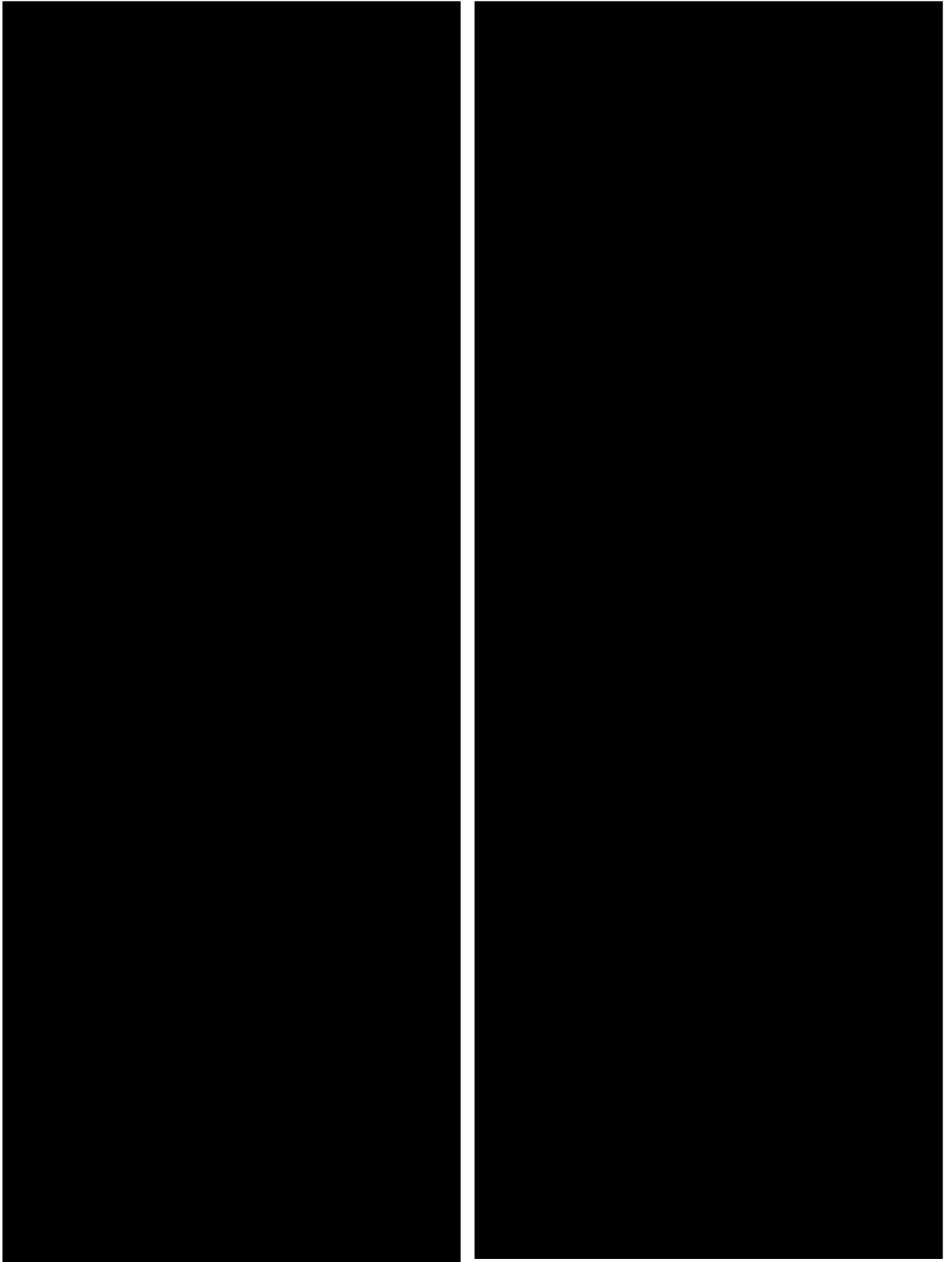
昨年10月の政治学会総会でもご案内致しましたように、日本政治学会は、現在その会員数が1500名を超えるまでに大きく発展して参りました。それに伴い学会事務も飛躍的に増大してきました。この様な状況に対処するべく歴代事務局は、会員の皆様のご理解・ご協力を得つつ、事務の簡素化・合理化に努めて参ったところでございますが、従前のように全ての事務を事務局において処理することが大変難しくなってきました。そこで、日本政治学会と同規模の他学会の多くが近年行っている学会事務センターへの業務一部委託につき、前理事会、現理事会と引き続いて検討を続けて参りました。昨年12月12日に開催されました理事会での

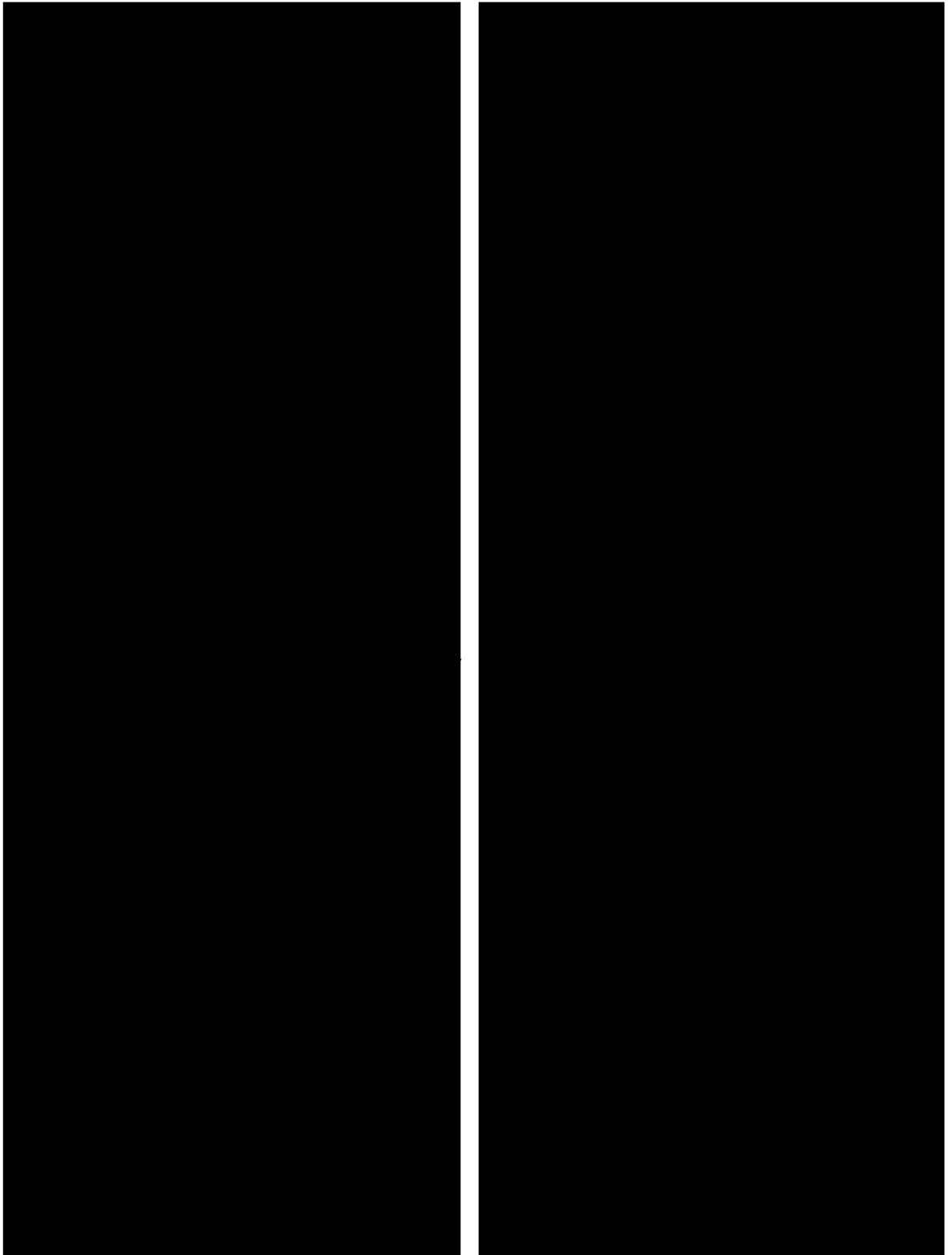
決定を受けて、本年4月1日からの学会事務センターへ業務の一部が委託されました。これに伴い、会費納入や住所・所属変更等に関する手続きが従前の方式から変更されています。いろいろご不便をおかけすることもあるかと存じますが、事情をご賢察の上ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

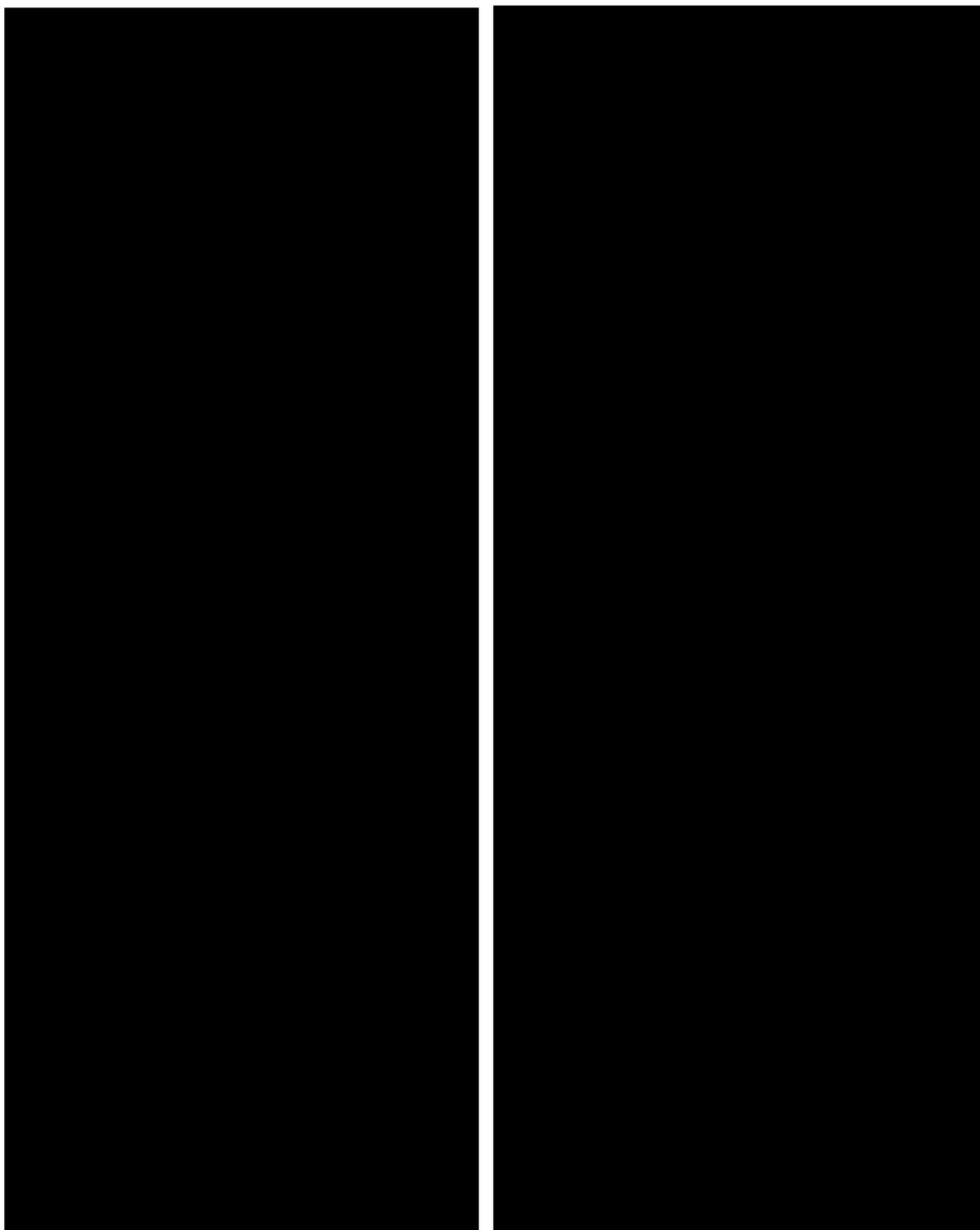
詳しい事務手続き上の変更については学会事務センターから別途案内が、本年度会費請求とともに皆様のお手元に届けられます。なお、会費・住所変更・退会以外の庶務業務は従来通り事務局が担当いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

会員の異動









事 務 局 よ り

会費納入についてのお願い

・本年度会費の振込用紙が学会事務センターから送付されますので、6月末までにお支払いください。

・振込用紙には金額(未納分がある方はその額も含めて)が記入してあります。なお、一般会員の年会費は7500円、大学院生会員は5000円です。大学院生とは、後期博士課程の正規の学生のみで、研究生、学術振興会特別研究員等は大学院生とは見なされません。この1年間で大学院生でなくなった方は、一般会費をお支払いの上、その旨事務センターへご連絡ください。

・昨年度から、総会・研究会当日における学会費現金徴収を停止しています。振込にてのお支払いをお願い申し上げます。

事務局電話・ファックス番号が変更になりました。

新電話番号 078-803-6770

新ファックス番号 078-803-6753

訃 報

・下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

藤原 弘達氏 1921年生 日本政治史・政治思想史
徳江 健氏 (共愛学園前橋国際大学) 1919年生
日本政治史・ヨーロッパ政治史
理事 78
岡 義達氏 (大東文化大学法学部 東京大学名誉教授) 1921年生 政治学 理事
68

本号の目次

1. 世紀末における政治学 下斗米伸夫 … 1
2. 1999年度研究会プログラム …… 2
3. 規約検討委員会の発足について …… 4
4. 韓国政治学会冬季大会への
参加者募集について …… 4
5. アメリカ政治学会派遣報告者
公募について …… 5
6. 理事会記録 …… 5
7. 1998年度決算(案) …… 9
8. 1999年度予算(案) …… 10
9. 学会事務の外部委託についてのご案内 … 11
10. 会員の異動 …… 11
11. 事務局より …… 16

1999年5月31日

発行 日本政治学会事務局

久米郁男

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
神戸大学法学部内

TEL 078-803-6770

FAX 078-803-6753

(財)日本学会事務センター

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
会員業務(退会、住所変更、会費)

TEL 03-5814-5810

FAX 03-5814-5825

印刷 (株) ニック